



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年4月30日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2499 URL http://www.wasou.com/profile/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田重久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菅野泰弘 TEL 03-3216-0070
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,003	△25.4	△220	—	△242	—	△176	—
26年12月期第1四半期	1,345	34.8	△433	—	△458	—	△305	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △175百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △314百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△19.56	—
26年12月期第1四半期	△33.93	—

(注) 平成26年12月期第1四半期及び平成27年12月期第1四半期の営業利益、経常利益及び四半期純利益がいずれも損失であったため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。また、平成26年12月期第1四半期及び平成27年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	6,734	2,011	29.8
26年12月期	7,735	2,212	28.5

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,004百万円 26年12月期 2,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	2.00	—	3.00	5.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,030	△12.9	100	—	50	—	22	—	2.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期 1 Q	9,002,000株	26年12月期	9,002,000株
② 期末自己株式数	27年12月期 1 Q	0株	26年12月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期 1 Q	9,002,000株	26年12月期 1 Q	9,002,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

前事業年度末に営業拠点を29拠点から15拠点へと統廃合したことから、当事業年度は経営資源を大都市圏に集中して運営しております。

当第1四半期は、春の「無料きもの着付教室」新規受講生の募集時期にあたります。1月から3月にかけて、企業イメージの向上も兼ねて有名タレントを起用した広告を展開した結果、計画通りの新規受講生数となる応募をいただきました。また、この春の教室から、お客様一人ひとりが手厚い授業を受けられる、個別指導の体制を整えており、これまでよりも1クラスあたりの受講生を少人数（6名以内）にして開講しました。よりきめ細かな教室運営により、お客様それぞれのニーズを的確に捉えることで、4月から6月に開催する販売機会では、多くのお客様にご満足いただける販売仲介ができるものと考えております。

「無料きもの着付教室」の卒業生（会員様）を対象としたイベントでは、これまでの実績で人気の高かったイベントに絞り込んだ年間開催計画を立て、係る経費については、予算の範囲内での運営に努めております。当第1四半期においては、2月に全国8会場で「きものブリリアンツ地区大会」を開催し、経費管理に注力しながら、目標を上回る売上高を達成しました。

これらのことから、売上高については1,003百万円（前年同四半期比25.4%減）となり、売上高の減少に伴い売上原価（着物や帯の縫製に係る費用）が減少しました。

販売費及び一般管理費については、春の「無料きもの着付教室」の受講生募集に係る広告宣伝費を、これまで第1四半期に計上していましたが、当事業年度では、広告代理店との契約を見直して年間契約とし、契約書に基づいた第1四半期における経費負担額を計上しています。そのため、前年同四半期比では広告宣伝費が減少し、加えて、営業拠点数の減少に伴い固定費が減少したことや、会員様向けのイベント開催に係る経費管理に注力したこと等により、販売費及び一般管理費が減少した結果、営業損失は220百万円（前年同四半期は営業損失433百万円）となりました。

営業外損益では、日本和装クレジット株式会社の運転資金の借入金利息を13百万円計上、資金調達手数料として支払手数料9百万円計上したこと等により、経常損失は242百万円（前年同四半期は経常損失458百万円）となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を計上するとともに、法人税等調整額を計上した結果、マイナス66百万円（前年同四半期はマイナス146百万円）を計上いたしました。

これらの結果、四半期純損失は176百万円（前年同四半期は四半期純損失305百万円）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,001百万円減少して6,734百万円となりました。流動資産で、現金及び預金が202百万円減少、割賦売掛金が525百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、固定負債で、償還により社債が50百万円減少したことや、日本和装クレジット株式会社の運転資金としての長期借入金が返済により664百万円減少したこと等により、総額では799百万円減少し、4,723百万円となりました。

純資産につきましては、当第1四半期連結累計期間に計上した四半期純損失176百万円及び配当金の支払い27百万円により、利益剰余金が203百万円減少しました。この結果、前連結会計年度末と比較して201百万円減少し、2,011百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年2月27日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

現在の取り組みについて

当社グループでは、前事業年度に設立した特定非営利活動法人「和服を世界遺産にするための全国会議」と連動し、和服をユネスコ無形文化遺産へ登録することを目指した活動を展開しております。ユネスコ無形文化遺産への登録により、世界から和服が注目されることは、当業界に著しい経済効果をもたらすと考えております。

また、男性向けきもの市場には大いに開拓の余地があると考えており、前事業年度に出店した「男きもの専門店SAMURAI」を中心に、当社グループをあげて、男きものPRを充実させております。男性向けきもの市場の開拓は、当社がこれまで開拓してきた女性きもの市場との相乗効果により、さらに市場を活性化するものと期待しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,141,944	939,409
営業未収入金	367,107	328,734
割賦売掛金	4,035,034	3,509,538
たな卸資産	103,270	114,383
その他	864,964	568,289
貸倒引当金	△42,428	△47,569
流動資産合計	6,469,893	5,412,786
固定資産		
有形固定資産	675,987	660,105
無形固定資産	36,828	40,118
投資その他の資産	552,993	621,374
固定資産合計	1,265,810	1,321,597
資産合計	7,735,703	6,734,384
負債の部		
流動負債		
営業未払金	46,269	41,809
短期借入金	1,912,856	1,969,245
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	24,579	3,287
前受金	334,082	226,564
営業預り金	15,786	76,138
その他	582,367	518,254
流動負債合計	3,015,941	2,935,299
固定負債		
社債	150,000	100,000
長期借入金	2,347,860	1,678,844
その他	9,000	9,000
固定負債合計	2,506,860	1,787,844
負債合計	5,522,801	4,723,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,487	336,487
利益剰余金	1,426,892	1,223,778
株主資本合計	2,223,014	2,019,900
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△15,862	△15,499
その他の包括利益累計額合計	△15,862	△15,499
新株予約権	5,749	6,839
純資産合計	2,212,901	2,011,240
負債純資産合計	7,735,703	6,734,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,345,232	1,003,399
売上原価	235,254	144,842
売上総利益	1,109,978	858,556
販売費及び一般管理費	1,543,493	1,078,846
営業損失(△)	△433,514	△220,289
営業外収益		
受取利息	191	197
為替差益	—	1,600
その他	2,595	2,770
営業外収益合計	2,787	4,568
営業外費用		
支払利息	12,036	13,301
支払手数料	12,586	9,409
その他	2,716	4,206
営業外費用合計	27,340	26,917
経常損失(△)	△458,067	△242,638
特別利益		
新株予約権戻入益	3,171	—
特別利益合計	3,171	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△454,895	△242,638
法人税、住民税及び事業税	4,247	2,776
法人税等調整額	△150,253	△69,364
法人税等合計	△146,006	△66,587
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△308,889	△176,050
少数株主損失(△)	△3,449	—
四半期純損失(△)	△305,439	△176,050

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△308,889	△176,050
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,831	362
その他の包括利益合計	△5,831	362
四半期包括利益	△314,721	△175,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△311,271	△175,688
少数株主に係る四半期包括利益	△3,449	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

3. 補足情報

季節的変動について

当社グループの主な収益源は、「無料きもの着付教室」の受講生及び卒業生を対象とした販売機会において、各契約企業が商品を販売することに対する仲介手数料です。

「無料きもの着付教室」は年2回(春期・秋期)開講しており、春期は第1四半期中に受講生を募集して開講し、受講中となる第2四半期を中心に販売機会を開催して終了します。同じく秋期では、第3四半期中に受講生を募集・開講し、第4四半期を中心に販売機会を開催して終了します。そのため、販売機会による仲介手数料の計上が第2四半期と第4四半期に集中します。

その他、教室の卒業生である会員様を対象とした販売機会を不定期に開催しておりますが、「無料きもの着付教室」に係る売上高の計上時期の偏重が大きいことから、各四半期業績に季節的変動があります。